



平成 30 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 アンジェス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経営戦略本部長 平崎誠司
電 話 番 号 03-5730-2641

急性呼吸不全の治療薬を共同開発
— カナダ Vasomune 社と提携 —

当社は、本日開催の取締役会において、カナダのバイオ企業である Vasomune Therapeutics Inc (以下 Vasomune 社) と、急性呼吸不全など血管の不全を原因とする疾患を対象とした医薬品を共同開発することを決議し、契約を締結しましたのでお知らせいたします。

今後、両社は契約に基づき Vasomune 社が創製した化合物について全世界を対象とした開発を共同で進め、開発費用と将来の収益をそれぞれ折半します。当社は Vasomune 社に対し契約一時金及び開発進捗に応じたマイルストーンを支払います。

最初の適応疾患として重症の呼吸不全である急性呼吸窮迫症候群 (ARDS) を想定した非臨床開発を実施し、2年後をめどに臨床試験を開始することを目指します。その後、臨床試験において POC (患者での一定の有効性の証明) を獲得した段階で、製薬企業に開発・販売権を導出することを想定しています。

ARDS は外傷や肺炎、輸血などさまざまな原因で起こる重症の呼吸不全ですが、根本的な治療法はなく有効な治療薬の開発が望まれています。これらの症状は主に、肺の毛細血管から血液成分等が漏れ出し、肺胞によるガス交換を妨げたりすることにより引き起こされます。共同開発する化合物は血管にある Tie2 受容体と呼ばれる分子に結合 (Tie2 受容体アゴニスト) することで、血管の漏出を抑制する働きを持つと期待されます。有効な ARDS 治療薬が開発できた場合の潜在的な事業機会は世界で 25 億ドル以上あると期待されています。

今回の契約は急性呼吸不全のみならず全ての疾患を対象としており、将来、喘息など他の疾患にも共同開発の対象を広げる可能性があります。当社は、主力開発品である HGF 遺伝子治療薬 (重症虚血肢) の開発を通し血管疾患に関する知見とノウハウを蓄積しており、今回の共同開発ではそうした当社の強みを活かすことができます。

Vasomune 社はトロント大学の医学研究機関である Sunnybrook Research Institute からのスピンアウトとして 2012 年に設立された創薬バイオベンチャー企業で、血管不全に関する疾患を対象とした Tie2 受容体アゴニストの開発に取り組んでいます。

当社は現在、臨床開発以降の段階にある自社プロジェクトとして、重症虚血肢を対象とした HGF 遺伝子治療薬、椎間板性腰痛症向けの核酸医薬 (NF- κ B デコイオリゴ)、高血圧 DNA ワクチンの 3 プロジェクトを進めています。これらに加え、今後の成長のために開発品パイプラインのさらなる拡充を目指しており、今回の共同開発契約はその目的に合致します。ユニークな作用機序をもつ本剤は様々な疾患に適用できる可能性があり、開発が成功した場合には大きな事業性が期待できます。

なお、本件による平成 30 年 12 月期通期の業績への影響につきましては、他の要素も含め現在精査中であり、業績予想の修正が必要な場合には速やかに開示いたします。

以 上